

～清流に 輝けひろがれ 長寿の輪～ ねんりんピック岐阜2020リハーサル大会を開催しました

今年10月31日より養老町で開催される全国健康福祉祭(ねんりんピック岐阜2020)ペタンク交流大会に備え、11月23日(土)に県ペタンク協会が主催する「2019年岐阜県ペタンク選手権大会」をリハーサル大会として開催しました。当日は好天に恵まれ、選手はのびのびとペタンクを楽しみました。

☎健康福祉課 ☎32-1105



農業委員会だより (第4回)

～竜王町農業委員会の視察の受入を行いました！～

町農業委員会は、10月24日(木)に滋賀県竜王町農業委員会(人口1万2千人)の視察研修の受入れを行いました。視察研修の受入れは、前年の滋賀県草津市農業委員会に続いて2例目で、農業委員の資質向上や今後の活動の参考とするため、近年は積極的に受け入れています。

今回は、町農業委員会から、中村辰夫会長をはじめ地区代表者も参加し、農地の集積・集約化や、『人・農地プラン』の実質化に向けた取組みをテーマに活発な意見交換を行いました。

研修では、はじめに養老町の現状や農業委員会の活動について説明しました。続いて、(株)笠郷営農センター代表取締役小野敏さんが、農地を借り受けて経営規模が大きくなるにつれて、広大な農地を効率的に耕作していくには、地域の他の農業者とも協力する必要があると、話し合いを重ねながら営農するエリアを決めていったことなど、自身の経験を踏まえながら話しました。

その後は、竜王町と養老町の農業委員が5つのグループ(各グループ6人程度)に分かれて意見交換を行いました。この意見交換では、担い手ごとに色分けされた『人・農地プラン』の地図を用いて、養老町の農業委員が各地区の営農状況をはじめ、農地の集積・集約の状況などを説明し、竜王町の取組みとの違いや地域事情についても情報交換しながら交流を図りました。さらに、全国的な問題になっている耕作放棄地対策などについても話し合いを行った後、今後も継続的に農地利用の最適化に向けた取組みについて情報交換を行うことを約束して研修を終了しました。

研修を終えた中村会長は、「竜王町との地域性の違いはあるものの、農地に対する問題点は養老町ともよく似ている。この視察の受入れをきっかけに、今後お互いに情報交換しながら、優良な農地の保全や農地利用の最適化に力を入れていきたい。」と語りました。

【ひとくちメモ】

『人・農地プラン』とは、農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化し、市町村ごとに公表されるものです。

この『人・農地プラン』については、法律の改正により、将来的な農地の利用意向をアンケートなどにより把握しながら、地図上においても農地の出し手と受け手が明確化されるようになるなど、“プランの実質化”を図るよう求められており、養老町においても今後アンケート調査を実施する予定です。



竜王町との意見交換の様子

☎農業委員会(農林振興課内) ☎32-1107